

事業者における自己評価結果（公表）

別紙 3

公表：令和 2年 4月27 日

事業所名 放課後等デイサービスもやいのえんがわ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>			
	②	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>			
業務 改善	④	業務改善を進めるための PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		8～9割の職員が参加している	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	<input type="radio"/>			
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		研修プログラムを組んで毎月リスクマネジメントも実施している	
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		<input type="radio"/>		できる限り導入しようとしているが日々試行錯誤している状況
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>		3月から開始した休校など臨機応変に課題を変更して実施している	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>			
		支援開始前には職員間で必ず打合せをし、そ				

⑮	の日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終了後には必ず職員から児童の様子を振り返ってもらう	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		経過記録は詳しく記載している	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		各機関に対して適宜報連相を実施している	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			現状受け入れ態勢は整っておらず検討中
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		必要に応じて報連相している	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要に応じて療育センターなどに連絡している	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		公園などを活用	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○			情報収集していく
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		電話、送迎時お話しする機会を作っている	
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			今後検討が必要	

③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		連絡ノートを導入している	

保護者への説明責任等	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		必要に応じて管理者、責任者が対応をするように組織で動いている	
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行動予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		会報誌ではないが日々、ブログを更新し保護者が閲覧できる状況にしている	
	③⑮	個人情報に十分注意している	○			
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		連絡ノートを導入している	
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		マルシェなどを開催し地域住民を招待子供たちも交流する	
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に訓練等を実施	
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修プログラムに組み込み済み	
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		管理栄養士と相談して食事には気をつけている	
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		毎月リスクマネジメントカンファレンスを実施している	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

